

高等学校 令和4年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科: 保健体育 科目: 保健 単位数: 1 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 2組

使用教科書: (現代高等保健体育改訂版 大修館)

教科 保健 の目標:

- 【知識及び技能】健康で安全な生活を送るために必要な知識と取り組みを理解させる
- 【思考力、判断力、表現力等】自分自身の健康と周りの人々の健康について具体的に行動できるように行動できるようにする
- 【学びに向かう力、人間性等】最新の知識をアップデートし、正しい判断と行動ができるようにする

科目 保健 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
交通事故の現状と応急処置の方法、家族計画と妊娠出産のメカニズム、環境問題についての知識と技能を養う	それぞれの単元の「考えてみよう」のワークを利用し、自己表現ができるようにする	新しい知識と将来を見据えた問題点を想像し解決する力を身に付ける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	交通時とどその現状 様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解すること 交通事故の要因 事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解すること	【知識・技能】交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 【思考・判断・表現】安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	応急処置の方法 応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。 応急処置について 救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解する。	【知識・技能】応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・表現】応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○	○	4
	思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	思春期と健康 思春期における心身の発達や性的成熟について理解すること 思春期の健康課題について 思春期に起こりやすい健康課題について理解すること	【知識・技能】生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・表現】思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 【主体的に取り組む態度】結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		

2 学 期	結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。	妊娠と出産 受精、妊娠、出産の過程と、それに伴う健康課題について理解すること 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解すること	【知識・技能】生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・表現】思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。	○	○	○	3
		家族計画 家族計画の意義について理解する。人工妊娠中絶が心身に与える影響について理解すること	【主体的に取り組み態度】結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。	○	○	○	4
	加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。	加齢と健康 加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解する。若年期の生活習慣が中高年期の健康に影響することを理解する。		○	○	○	6
	生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	高齢者に対する取り組み 高齢社会における健康課題について理解すること 高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解すること		○	○	○	5
	定期考査		○	○			
3 学 期	人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	大気汚染と健康 大気汚染による健康への影響について理解すること 地球規模で起きている大気環境の問題について理解すること 水質汚濁と土壌汚染 水質汚濁による健康への影響について理解すること 土壌汚染による健康への影響について理解すること	【知識・技能】環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・表現】人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 【主体的に取り組み態度】環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○	○	3
	人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	食品の安全と健康 食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解すること 人々の健康を支えるためには食品の安全性の確保が重要であることを理解すること 食品を安全性を確保する取り組み 食品の安全性を確保するための行政や生産・製造者の役割について理解すること 食品による健康被害を防ぐために私たち消費者が果たす役割について理解すること	【知識・技能】食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・態度】食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 【主体的に取り組み態度】食品と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○	○	3
	我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	保健制度とその活用 保健行政の役割について理解すること 健康の保持・増進には保健サービスの適切な活用が必要であることを理解すること 様々な保健活動やその対策 日本や世界では健康課題に対応した保健活動や対策が行われていること 国際機関や民間機関などにより行われている様々な保健活動や対策について理解すること	【知識・技能】保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・態度】医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 【主体的に取り組み態度】保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○	○	合計
定期考査			○	○		35	